

# セクシュアリティ教育にとりく んできた永野佑子さんは「ダメダメはダ メ」と言います。つまり、セクシュアリ ティの教育や支援において、「禁止」は いけないということです。



日本福祉大学

## 伊藤修毅

いとう なおき / 日本福祉大学准教授。  
専門は障害児・者のセクシュアリティ教  
育、青年期教育。共著に『イラスト版  
発達に遅れのある子どもと学ぶ性はな  
し—子どもとマスターする性のしくみ—  
いのちの大切さ』(合同出版)、『くらし  
の手帳』(全障研出版部)など。

## 第4回 私のからだは私のもの

セクシュアリティ教育を「ころとからだの学習」と呼ぶことがあります。「からだところの学習」とは決して言わないことに、「ころ」を第一に大切にしたいという思いを感じますが、だからと言って、「からだ」は二の次でいいわけではありません。むしろ、「からだ」を科学的に学ぶことは、セクシュアリティ教育の中心的なテーマです。

### 🌿 プライベートゾーンをきめる

からだの学習では、「とにかくプライベートゾーンは伝えたい」と考える実践が多いようです。「プライベートゾーン」とは、一般的には、性器やお尻、女性の場合の胸などを指し、たとえば「水着で隠す場所」といった伝え方をすることが多いようです。そして、プライベートゾーンは大切なところなので、「人に見せてはいけません」「人に触らせてはいけません」といった指導が続きます。

「口もプライベートゾーンに含めるべきでは」とか、「見せてと触らせてはどちらがよいか」などの論争もあります。その前に、「〇〇してはいけません」という禁止口調が問題です。長年、障害



児・者のセクシュアリティ教育にとりくんできた永野佑子さんは「ダメダメはダメ」と言います。つまり、セクシュアリティの教育や支援において、「禁止」はいけないということです。

「禁止」を避けるべき理由は二つあります。一つは、性的な行動を禁止することは「抑圧」になるということです。抑圧されたエネルギーはなんらかの形で暴発することがあるわけですが、それが「性加害」という形となって表れることもあります。性犯罪の加害者にならないためにきびしく禁止をするという方がいますが、性的な行動に対する強い禁止の繰り返しは、結果的に、その人を性犯罪の加害者に近づけることとなります。

もう一つの理由は、支援者との信頼関係が切断してしまうという点です。前回、セクシュアリティの権利を保障するためには、支援が必要であるということを書きました。つまり、困ったときに「困った」と頼れる支援者の存在は欠かせません。しかし、禁止をした支援者は困ったときの相談相手にはなりえません。「この人なら相談しても大丈夫」と思える関係を維持するためにも、禁止の言葉掛けは避けたいものです。

プライベートゾーンに話を戻します。プライベートゾーンを「からだの大切なところ」と伝えることも多いですが、そもそも、からだはすべて大切です。自分のからだは、自分だけの大切なものであることを大前提におくことが必要です。

その上で、性器やお尻、胸などは、「大切なからだのなかでも、特に大切な部分なので、特別な場合を除いては、他人に見せたり、触らせたりはしないでほしい」と伝えるのがよいかと思えます。「特別な場合を除いて」というのは、たとえば公衆浴場なども想定されますし、何か異常が発生した時には保護者や医師に見せる必要があります。将来は、特別な関係の人には、プライベートゾーンをオープンにすることもあります。プライベートゾーンを絶対的なものとして、教え込むことよりも、「特に大切な部分」を状況に応じてどうするのがよいか、考えられるようにすることが大切です。

### 🌿 大切なものには名前がある

からだは大切ということを実感しても、らうためには、からだの各部の名前をしっかり伝えていく必要があります。名

前のない部分を「大切にしないで」と言われても、無理な話だからです。ところが、目や鼻ならいいけど、ペニスやワギナなどは言えないし、教えたくないという「おとな」にしばしば出会います。からだの学習で、ことさらに性器のみを強調する必要はありませんが、性器もきちんと位置付けるべきです。「特に大切な部分」と伝えるからには、ていねいに教えていきたいものです。

漠然と外性器を指す言葉としては、男性はペニス、女性はワギナで十分でしょう。認識の力に応じて、より詳しい学習をするのであれば、男性の外性器なら、亀頭、冠状溝、包皮、陰囊など、細かく説明していくこともあります。女性の外性器には3つの穴があるという説明はよくされます。前から順に、尿道口、膣口、肛門です。尿道口の少し前にクリトリリスがあり、クリトリリスから膣口の下の辺りまでは小陰唇で覆われていて、さらに、その外側が大陰唇で覆われています。女性は、手鏡などを使って自分の外性器の状態をしっかりと確認しておくことも大切です。

実際に目で見るのでできない内性器の学習は、よりむずかしくなります。発